

氏名	秋山 恭子	部署	健康開発学科	職名	助教
研究分野	歯科衛生士養成教育、口腔疾患予防				
学位	修士(口腔保健学)				
学歴	2006年埼玉県立大学短期大学部歯科衛生学科、13年東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科、15年東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医歯理工学専攻修士課程				
経歴	2014埼玉県立大学保健医療福祉学部 助教				
所属学会(役職)	日本歯科衛生学会、日本歯科医学教育学会、日本歯科衛生教育学会、日本歯周病学会				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
2					
(2) 論文					
1	該当なし				
2					
(3) 学会発表					
1	歯科衛生学生の生活に影響を与える因子調査—進路希望に関して—	共著	第10回日本歯科衛生学会学術大会, 札幌	○秋山恭子,木下淳博,品田佳世子,他	2015年9月
2					
(4) その他					
1	該当なし				
2					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	該当なし				
2					
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	口腔保健科学概論	2015.7	講義を2回担当し、歯科衛生士の様々な活動についての授業を行った。授業後のアンケートでは、幅広く歯科衛生士の活動内容について知ることが出来、進路を考えるきっかけとなったという感想が多		
2	口腔健康教育論Ⅱ	2015.10～2015.12	歯周疾患に関する複数の講義・演習を担当し、個人および集団を対象とした健康教育を行うための情報収集ができるように展開した。チーム編成や学生のレディネスにも留意した演習は、学生の満足度も高かった。		
(2) 演習					
1	歯科材料学	2015.4～2015.8	学内担当として、非常勤講師の行う演習が円滑に進むよう準備・サポートを行った。		
2	齲蝕予防処置法	2015.12～2016.2	各回で症例を用意し、学生が臨床に即した形で齲蝕予防処置法を学べるよう、科目責任者と協力して演習を行った。		
3	口腔健康教育実践論Ⅱ	2015.10～2016.2	歯科衛生士として高齢者の生活を支えるために必要な演習を担当した。学生がこれまで学んだ内容が活かせるような授業内容を実践し、その中で学生自らが気づきを得られるよう工夫した。		
(3) 実習					
1	歯周病予防処置法Ⅰ～Ⅲ	2015.4～2016.1	授業担当者としてほぼ全回に出席し、視覚的に理解しやすい教材の作成と、学生の段階に応じた実技指導を行うよう工夫した。		
2	チーム歯科医療学Ⅰ～Ⅲ	2015.7～2016.1	授業担当者としてほぼ全回に出席した。手洗いから複雑な診療補助技術まで、臨床での経験も伝えながら、学生の理解促進につながるよう、指導内容を工夫した。		
(4) 論文指導					
1	卒業研究	2015.4～2016.1	主指導:4名		
2					

(5)その他			
1	第4学年副担任	2015.4～2016.3	国家試験対策、就職支援を行った。
2			
4. 社会貢献活動			
(1)講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	清透祭での公開講座	口腔保健科学専攻	「8020達成のために～親子でお口のチェックしてみませんか～」
2	りそなキッズマネーアカデミー2015	りそな銀行、埼玉県立大学	口腔保健の重要性について、歯科衛生士の模擬体験
3			
(2)国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		
2			
3			
(3)ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
2			
3			
5. 学内運営(委員会委員)			
1	IPW実習科目責任者会		
2			
3			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		